

第11期末(2025年5月12日)	
基準価額	10,481円
純資産総額	1,014百万円
第9期～第11期	
騰落率	△ 3.7%
分配金(税込み)合計	90円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

ピクテ・グローバル・ インカム債券ファンド (隔月決算型)

追加型投信／内外／債券

第9期(決算日2025年1月10日)

第10期(決算日2025年3月10日)

第11期(決算日2025年5月12日)

作成対象期間：2024年11月12日～2025年5月12日

受益者のみなさまへ

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記の弊社ホームページを開き「ファンド」より当ファンドの名称を選択いただき、さらに「運用報告書(全体版)」を選択いただきますと運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。
- 書面での運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、「ピクテ・グローバル・インカム債券ファンド(隔月決算型)」は、このたび、第11期の決算を行いました。

当ファンドは、主に日本を含む世界の公益社債に実質的な投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を図ることを目的に運用を行います。

当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

ピクテ・ジャパン株式会社

東京都千代田区丸の内2-6-1

お問い合わせ窓口

投資信託営業部

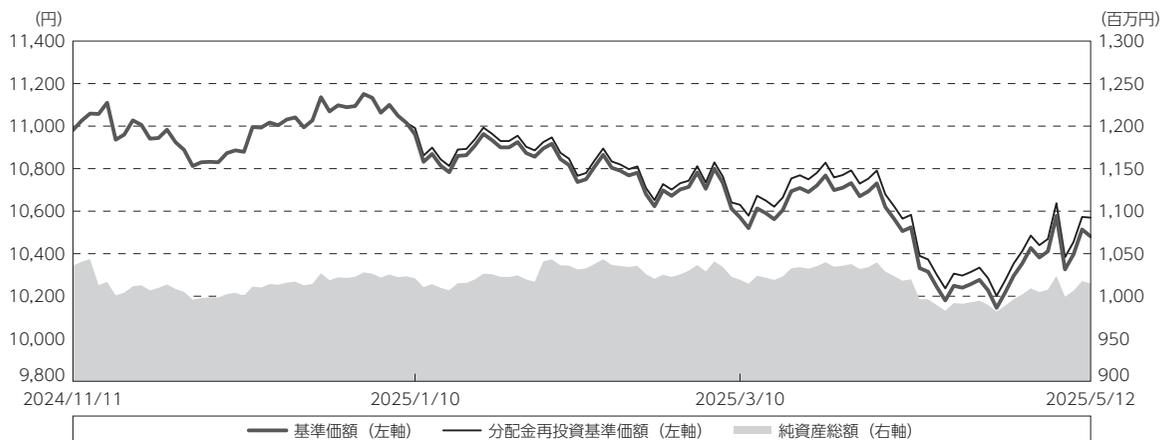
電話番号 03-3212-1805

受付時間：委託者の営業日の午前9時から午後5時まで

ホームページ：www.pictet.co.jp

運用経過

基準価額等の推移



第9期首：10,981円

第11期末：10,481円 (既払分配金(税込み)：90円)

騰落率：△ 3.7% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2024年11月11日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定していません。

基準価額の主な変動要因

下落↓・円に対して米ドルなどが下落したこと

下落↓・実質的に組入れている債券の価格が下落したこと

上昇↑・実質的に組入れている債券からの利金収入

1 万口当たりの費用明細

(2024年11月12日～2025年5月12日)

項 目	第9期～第11期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	67	0.624	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(34)	(0.313)	・ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、各種情報提供等、基準価額の算出等の対価
(販 売 会 社)	(32)	(0.302)	・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.010)	・ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	5	0.049	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.022)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(3)	(0.025)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.002)	・その他は、運用報告書等法定の開示書類の作成等に要する費用
合 計	72	0.673	
作成期間の平均基準価額は、10,761円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

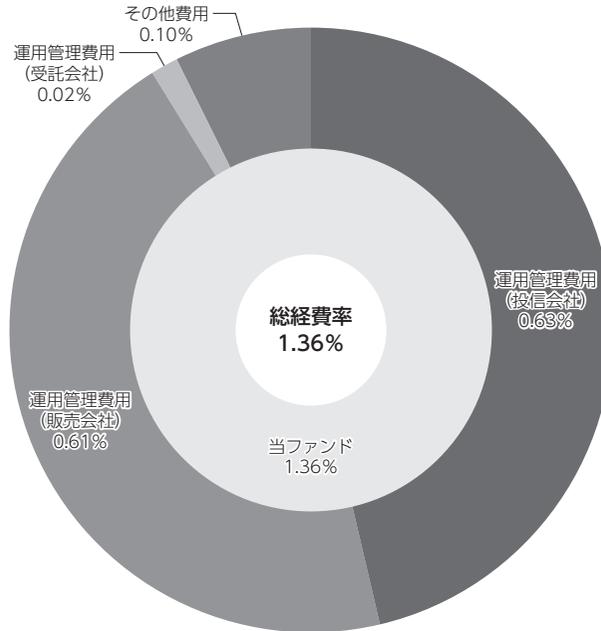
(注) その他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.36%です。



(注) 上記の費用は、「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移 (2020年5月11日～2025年5月12日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 当ファンドの設定日は2023年8月31日です。

	2023年8月31日 設定日	2024年5月10日 決算日	2025年5月12日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,837	10,481
期間分配金合計(税込み) (円)	—	70	180
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	9.1	△ 1.7
純資産総額 (百万円)	731	3,467	1,014

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
 ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2024年5月10日の騰落率は設定当初との比較です。
 (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定していません。

投資環境

- ・主要国の国債市場は、作成期を通じてみると下落(利回りは上昇)しました。作成期初から2024年12月初旬にかけては、米連邦準備制度理事会(FRB)と欧州中央銀行(ECB)の利下げ継続見通しから上昇(利回りは低下)しましたが、12月中旬以降は、FRBが以後の追加利下げに慎重な姿勢を示したことなどから、下落(利回りは上昇)に転じ、2025年1月半ばにかけてその基調が続きました。ただ、1月半ば以降は、ECBが追加利下げを決定したことや、新たに発足したトランプ米政権の関税政策を受けた景気後退懸念などを背景に、2月末にかけて上昇(利回りは低下)基調が続きました。3月は、ドイツ主導で欧州各国の財政支出の拡大方針が打ち出されたことから、欧州を中心に下落(利回りは上昇)しました。それ以降は、4月初旬にトランプ米政権が相互関税名目で世界中の多くの国々に事前想定以上の高関税を課すことを表明したことで、金融市場全体が激しい動揺に見舞われ、国債市場は投資家のリスク資産からの逃避行動を通じて一時大きく上昇(利回りは低下)しましたが、その後は米インフレ率の大幅上昇懸念などから急反落(利回りは上昇)する荒れた推移となりました。4月中旬以降は、トランプ米政権が関税政策について一部軟化したことで徐々に金融市場の沈静化が進み、作成期末にかけてもみ合う展開となりました。社債市場のスプレッド(国債に対する上乗せ金利)は、トランプ米政権による関税政策の世界経済や企業業績に対する悪影響が懸念されたことなどから、作成期を通じてみると拡大しました。
- ・為替市場では、作成期を通じてみると主要通貨に対する円高が進みました。作成期初から2024年11月末にかけては、FRBの追加利下げや、日本銀行の追加利上げに対する思惑などから円高・米ドル安基調で推移しました。12月以降は、米国の底堅い景気や高いインフレ率を背景にFRBの追加利下げペースが緩やかなものになるとの思惑から、2025年1月中旬にかけて円安・米ドル高基調で推移しました。1月下旬以降は、事前予想以上に強硬な米トランプ政権の関税政策から、米国の景気後退懸念が強まるとともに、日本銀行のタカ派的な金融政策姿勢から、円高・米ドル安に転じ、3月上旬までそうした傾向が続きました。その後3月末にかけては、強い米経済指標などに反応して円安・米ドル高基調で推移しましたが、4月に入って以降は、初旬にトランプ米政権が相互関税名目で主要貿易相手国に対する厳しい関税措置を打ち出したことで、リスク回避的な動きが広がり、急速に円高・米ドル安が進みました。中旬以降は、トランプ米政権が関税政策について一部軟化し、金融市場の沈静化が進んだことで、やや円安・米ドル高に転じて期末を迎えました。米ドル以外の主要通貨では、ユーロは域内各国の財政支出拡大を通じた景気回復に対する期待などから、対円でおおむね横ばい、対米ドルでは上昇しました。また、カナダドルは、米国の関税政策による相対的な影響の大きさや、原油価格の下落が嫌気され、対円で下落、対米ドルでも小幅に下落しました。

当該投資信託のポートフォリオ

当ファンドが主要投資対象とするピクテ・グローバル・インカム債券マザーファンド受益証券への投資比率を高位に維持してまいりました。実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行いませんでした。

<ピクテ・グローバル・インカム債券マザーファンド>

主に日本を含む世界の公益企業の債券に投資を行ってまいりました。

◇組入上位10カ国

【当作成期末】

国名	組入比率
米国	52.7%
英国	8.5%
イタリア	7.0%
フランス	6.7%
ドイツ	5.7%
カナダ	4.5%
スペイン	2.7%
オランダ	2.0%
ポルトガル	1.2%
ベルギー	1.1%

◇組入上位5業種

【当作成期末】

業種名	組入比率
電力	78.3%
水道	8.8%
ガス	3.1%
通信	2.2%
各種機械	1.8%

◇信用格付別構成比

【当作成期末】

信用格付	組入比率
AA格	4.8%
A格	27.7%
BBB格	59.3%
BB格	4.2%
B格	—
CCC以下	—
無格付	—

◇組入上位10銘柄

【当作成期末】

銘柄名	国名	業種名	組入比率
ユナイテッド・ユーティリティーズ・ウォーター	英国	水道	1.7%
ザイレム	米国	各種機械	1.6%
ブルックフィールド・リニューアブル・パートナーズ	カナダ	電力	1.5%
エンジー	フランス	電力	1.5%
ビストラ・オペレーションズ	米国	電力	1.4%
バージニア・エレクトリック&パワー	米国	電力	1.4%
アメリカン・ウォーター・キャピタル	米国	水道	1.3%
エクセロン	米国	電力	1.3%
エッセンシャル・ユーティリティーズ	米国	水道	1.3%
エネル・ファイナンス・アメリカ	イタリア	電力	1.3%

(注) 組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数がないためベンチマークおよび参考指数は設定していません。

分配金

当作成期中の1万口当たり分配金(税込み)は以下のとおりといたしました。
なお、留保益については、元本部分と同一の運用を行います。

◆分配金および分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第9期	第10期	第11期
	2024年11月12日～ 2025年1月10日	2025年1月11日～ 2025年3月10日	2025年3月11日～ 2025年5月12日
当期分配金	30	30	30
(対基準価額比率)	0.273%	0.283%	0.285%
当期の収益	30	30	30
当期の収益以外	—	—	—
翌期繰越分配対象額	1,366	1,389	1,417

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は小数点以下を切捨てて表示しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(1) 投資環境

米国のトランプ米政権の動向については不確実性が高いことから、金融市場の変動が大きい状況が続くと想定していますが、このような市場環境においては、信用力の高い企業や事業基盤が相対的に安定していると考えられる公益企業への需要が高まるものと考えます。欧州においては、ドイツが防衛力の強化やインフラ投資のため財政支出を拡大し、経済成長を支援する方針に転換したことにも、中長期的に同国の電力企業などに好影響を及ぼす要因として注目しています。

(2) 投資方針

ピクテ・グローバル・インカム債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界の公益社債に投資し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を図ることを目的に運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

<マザーファンド>

日本を含む世界の公益社債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を図ることを目的に運用を行います。銘柄選択においては、利回りの高さのみを追求するのではなく、発行体企業の収益基盤や財務状況などを踏まえた信用力評価を重視する方針です。ポートフォリオ全体の修正デュレーションの水準については、代表的な世界社債指数と比較して相対的に長く維持する方針です。貿易摩擦などが企業業績や信用力評価に与える影響を精査しつつ、慎重に銘柄の選別を行う方針です。

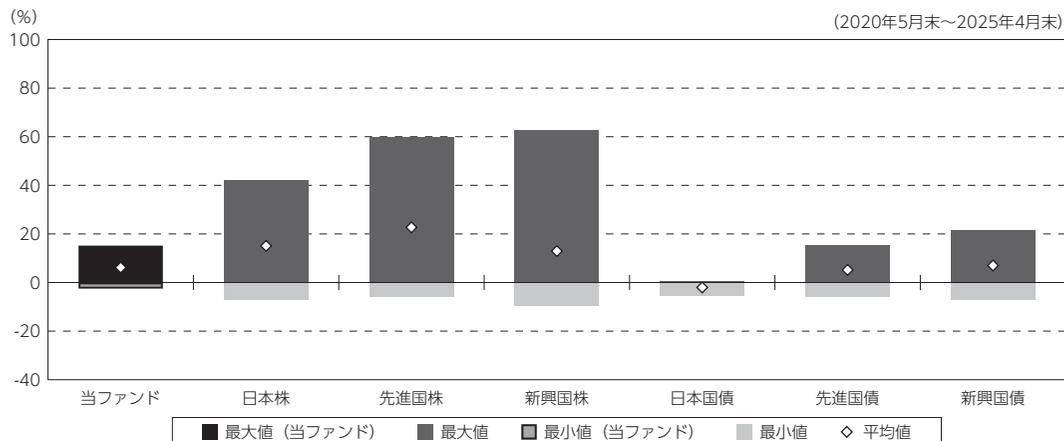
お知らせ

- ・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に対応するため運用報告書の記載箇所において所要の約款変更を行いました。
- ・2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	2023年8月31日（当初設定日）から無期限です。	
運用方針	主に日本を含む世界の公益社債に実質的な投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を図ることを目的に運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	ピクテ・グローバル・インカム債券マザーファンド受益証券
	マザーファンド	日本を含む世界の公益社債
運用方法	①マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界の公益社債に投資し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を図ることを目的に運用を行います。 ②実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主な投資制限	当ファンド	①株式への投資は、転換社債を転換ならびに新株予約権を行使したものに限り、株式への実質投資割合は信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	①株式への投資は、転換社債を転換ならびに新株予約権を行使したものに限り、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、基準価額の水準および市況動向等を勘案して委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。 ③留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	15.2	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
最小値	△ 2.5	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 5.5	△ 6.1	△ 7.0
平均値	6.2	15.1	22.7	12.9	△ 2.0	5.2	7.0

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2020年5月から2025年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2024年8月以降の年間騰落率を用いております。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

○各資産クラスの指標

日本株 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株 MSCI コクサイ指数 (税引前配当込み、円換算)

新興国株 MSCI エマージング・マーケット指数 (税引前配当込み、円換算)

日本国債 NOMURA - BPI 国債

先進国債 FTSE 世界国債指数 (除く日本、円換算)

新興国債 JP モルガン GBI - EM グローバル・ディバーシファイド (円換算)

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジをしない投資を想定して、ドルベースの各指数を委託者が円換算しております。

当該投資信託のデータ

当該投資信託の組入資産の内容

(2025年5月12日現在)

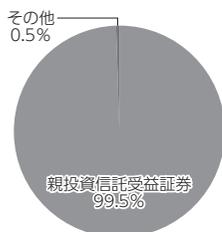
■組入上位ファンド

銘 柄 名	第11期末
	%
ピクテ・グローバル・インカム債券マザーファンド	99.5
組入銘柄数	1銘柄

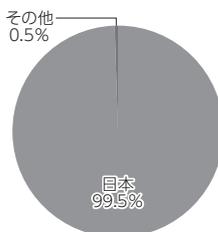
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

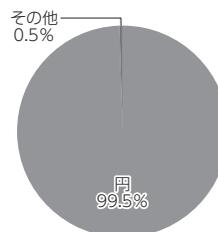
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等(日本・円)を含む場合があります。

純資産等

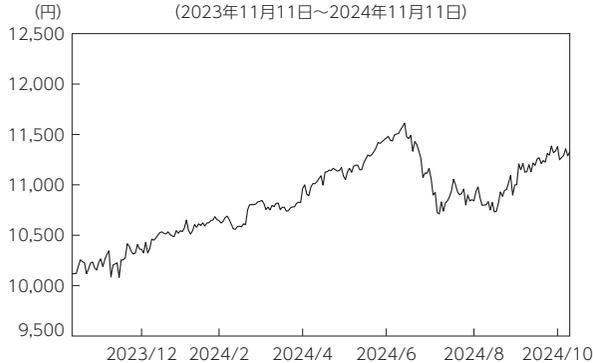
項 目	第9期末	第10期末	第11期末
	2025年1月10日	2025年3月10日	2025年5月12日
純 資 産 総 額	1,021,104,014円	1,019,329,384円	1,014,859,864円
受 益 権 総 口 数	931,543,546口	964,312,123口	968,323,124口
1万口当たり基準価額	10,961円	10,571円	10,481円

(注) 当作成期間(第9期~第11期)中における追加設定元本額は77,880,387円、同解約元本額は52,861,147円です。

組入上位ファンドの概要

ピクテ・グローバル・インカム債券マザーファンド

■基準価額の推移

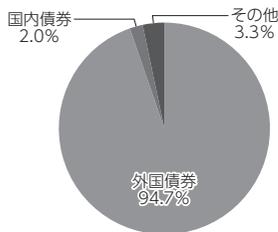


■組入上位10銘柄

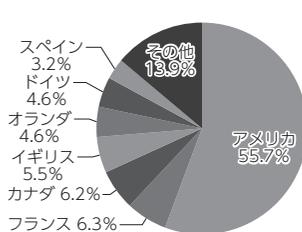
(2024年11月11日現在)					
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率%
1	6% VIRGINIA ELEC & POWER	普通社債券(含む投資法人債券)	米ドル	アメリカ	2.0
2	第484回九州電力株式会社社債(一般担保付)	普通社債券(含む投資法人債券)	円	日本	2.0
3	1.125% KOREA ELECTRIC PO	特殊債券(除く金融債)	米ドル	韓国	1.8
4	5.25% IBERDROLA FINANZAS	普通社債券(含む投資法人債券)	英ポンド	スペイン	1.6
5	2.25% XYLEM INC	普通社債券(含む投資法人債券)	米ドル	アメリカ	1.5
6	3.95% NSTAR ELECTRIC CO	普通社債券(含む投資法人債券)	米ドル	アメリカ	1.4
7	3.875% E.ON SE	普通社債券(含む投資法人債券)	ユーロ	ドイツ	1.4
8	5.88% BROOKFIELD RENEWAB	普通社債券(含む投資法人債券)	カナダドル	カナダ	1.4
9	4.625% PROLOGIS LP	普通社債券(含む投資法人債券)	米ドル	アメリカ	1.3
10	7.75% VISTRA OPERATIONS	普通社債券(含む投資法人債券)	米ドル	アメリカ	1.3
組入銘柄数			111銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
 (注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

■資産別配分



■国別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
 (注) その他にはコール・ローン等(日本・円)を含む場合があります。
 ※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

■1万口当たりの費用明細

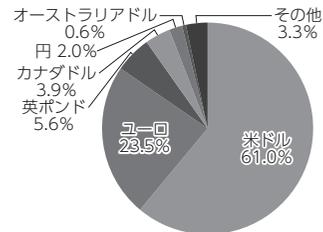
(2023年11月11日～2024年11月11日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用	4	0.033
(保管費用)	(4)	(0.033)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	4	0.033

期中の平均基準価額は、10,856円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

■通貨別配分



指数に関して

○ 「代表的な資産クラスと騰落率の比較」に用いた指数について

■ 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) :

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社 (以下「JPX」といいます。) に帰属します。JPXは、同指数の指数値およびそこに含まれるデータの正確性、完全性を保証するものではありません。JPXは同指数の算出もしくは公表方法の変更、同指数の算出もしくは公表の停止または同指数の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

■ MSCI コクサイ指数 (税引前配当込み) :

MSCI コクサイ指数は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

■ MSCI エマージング・マーケット指数 (税引前配当込み) :

MSCI エマージング・マーケット指数は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

■ NOMURA – BPI 国債 :

NOMURA – BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。同指数の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また同社は同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、当ファンドの運用成果に関して一切責任を負いません。

■ FTSE 世界国債指数 (除く日本) :

FTSE 世界国債指数 (除く日本) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券指数です。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

■ JP モルガン GBI – EM グローバル・ディバースィファイド :

JP モルガン GBI – EM グローバル・ディバースィファイドは、J.P.Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的な指数です。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。同指数の著作権はJ.P.Morgan Securities LLCに帰属します。